

想いをつなげる！

北海道札幌市
医療法人重仁会

「地域との関係を構築し、障がいのある人たちが働いている事業所だということを知ってもらいたい。地域への貢献もしていきたい。」という就労継続支援事業所スペースの想いと、「高齢になり除雪やゴミ捨てが大変、でも声をあげるには、ためらいがある。」という地域の状況をつなげる協議体を持ちカフェスペースの周知と生活支援に関する有償ボランティアの提案を行いました。

地域に対して周知をはかるにあたってのキーワードは「カフェや有償ボランティアを利用することは事業所とそこで働く障がい者の方たちを応援することになる。」

有償ボランティアを立ち上げたことにより、もともとカフェとして利用している方たちのほかに、ボランティアを利用した人もスペースへ立ち寄るなど、地域の高齢者の居場所となり、住民にとってもスペースの利用が障がい者の支援につながるウインウインの仕組みができあがりしました。

今後は、他の地域にある就労継続支援事業所でも展開していけたらと思っています。

有償ボランティアの活動の一部を紹介すると、札幌市において除雪は生活に欠かせない冬の作業ですが、高齢者にとっては重労働になります。スペースの除雪ボランティアはとても丁寧できれいだと地域の方からは感謝の声があがっています。実際に除雪作業を行う方にとっても依頼者から温かい言葉をかけてもらえることが、励みになるとのことです。活動中の何気ない会話は見守りも兼ねており、特に一人暮らし高齢者にとっては、スペースの利用が孤立感の解消にもつながっていくことが期待されます。買い物やゴミ捨て等ちょっとした支援での活用でもスペースさんは地域にとって不可欠な存在になっています。

